

あけましておめでとうございます。

父方が神道、母方が真言宗なので実家には神棚と仏壇があります。両方に頭を下げながら信仰とは何ぞやと考えてしまうのですが、この新年は初詣の代わりにと長く瞑想にも似たお参りをしました。自治体・政府・国外・世界の数字に一喜一憂することなく、元号のように美しい和の心を忘れずに励んでいこうと思います。最近将棋にハマり始めました。

(編集委員 關根さおり)

コロナ禍においてもスポーツ競技は私たちに多くの感動をもたらしてくれます。我が町の鹿児島ユナイテッドの2020シーズンはわずかの差でJ2昇格という目標には届きませんでした。2年続けて僅差での悔しい結果でしたが、毎試合ハラハラドキドキ大いに楽しませていただきました。地元に応援するチームがあるということはこんなにも素晴らしいことだとあらためて感じています。2021シーズンこそは・・大いに期待しましょう！

(編集委員 今村 直人)

忘年会、初詣で、新年会など年末年始の風物詩はことごとく自粛して迎えた年明けです。世間の雰囲気は心から「おめでとう」とは言いづらいところが残念です。来年こそは通常モードで、晴々として新年を祝いたいものです。マスク着用、感染予防の日常ももうしばらくの辛抱でしょうか。とにかく何とか日常診療を続けながらコロナの収束を迎えることを願っています。

(編集委員 森岡 康祐)

昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で生活が激変し大変な1年でした。今年も第3波が来ており予断を許さない状況ですが、ワクチンも供給されるようになる為もう少し我慢し、この困難を頑張って乗り越えていきましょう。1日でも早く平穀な日々に戻り、延期された東京五輪・パラリンピックが無事成功する事を切に願うばかりです。

(編集委員 角 純啓)

例年、年始の目標の一つに掲げている“BMIを2下げる”。昨年はついに達成することができました。“コロナ太り”を嘆く世間を横目に、ひたすら走り込みに日頃のストレスをぶつけた成果でしょう。何事につけ厳しい一年でしたが、少しは良いこともありました。今年は昨年の借りを返してお釣りがくるような年になるようにしたいものです。

(編集委員 寺口 博幸)

証券取引の世界では、ブル(雄牛)は角を下から上へ突き上げる仕草から相場上昇を、逆にベア(熊)は前足を振り下ろす仕草から相場が下落していることを表す言葉として使われています。昨年は新型コロナウイルス感染症で気分がベアな日々が続きましたが、今年は丑年、「おもしろき事もなき世をおもしろく」を実践して、ブルな状態で過ごせるようしたいものです。

(編集委員 島田 辰彦)

昨年は新型コロナウイルス感染症が世界を襲い、大変な年になってしまいました。昨年の新年の挨拶では、東京オリンピックの話題で明るい年を予感させていました。誰が今の世の中を予想したでしょうか。しかしながら、明けない夜はありません。今年も鹿児島市医師会員を繋ぐ鹿児島市医報の充実した誌面作りに努力したいと思います。今年もよろしくお願い申し上げます。

(副編集委員長 佐藤 大輔)

2019年の年末までは、2020年がこのように混乱した状況になるとはどなたも予想されなかつたと思います。混乱した時こそ新しい世界を考える時期としたいと思います。来年の干支は辛丑で「変化が生まれる年で全く別のものから活路がみいだせる」という意味があるそうです。2021年が会員の皆様にとりましてより良い年でありますように祈念いたしております。

(編集委員長 帆北 修一)